

EUROGUSS 2024 の会場レポート



見本市 EUROGUSS	展示ホール	出展者数	来場者数
各種ダイカスト製品、ダイカストマシン/周辺機器、金型/付属品、ラピッドプロトタイプング/ラピッドツーリング、計測/制御技術、離型材、合金/金属、鋳造後処理/CNC 加工、廃棄物処理、安全対策	4 ホール： 7, 7A, 8, 9 展示面積 40,700 m ²	2024 年 1 月 641 社 (内ドイツ外 391 社)	2024 年 1 月 14,341 人 (内ドイツ外 6,853 人)
		2022 年 6 月 638 社 (内ドイツ外 365 社)	2022 年 6 月 10,709 人 (内ドイツ外 5,271 人)
		2020 年 1 月 758 社 (内ドイツ外 427 社)	2020 年 1 月 14,599 人 (内ドイツ外 6,219 人)

2024 年 1 月 16 日から 18 日まで、ダイカスト技術の国際見本市である EUROGUSS がドイツのニュルンベルクで開催されました。同見本市はヨーロッパ最大のダイカスト見本市で、ハイテク機械から新素材、効率的なエネルギーソリューションに至るまで、ダイカストのプロセス全体をカバーする唯一の見本市となっています。会期中、開催地のニュルンベルクは寒気団の影響で大変な寒さに見舞われましたが、業界にとって欠かすことのできない重要な商談の場ということもあり、初日から大勢の来場者で賑わいました。パンデミックによる激動の 2 年間を経て、EUROGUSS が通常に戻りつつあることを実感する見本市となりました。

出展者はドイツを筆頭に、オーストリア、イタリア、トルコ、スペインなどのヨーロッパの国々が中心となっています。会場には、イタリア、スペイン、チェコの各国ブースも設置されましたが、特に目を引いたのがイタリア鋳造協会（AMAFOND）と貿易機関（ICE）がホール 9 に設営した巨大なイタリアブース（約 600 m²）でした。この他にも、研究機関・教育機関の出展エリア、表面技術と積層造形法に焦点を当てたテーマ展、スタートアップ企業が集まるエリア等、様々なブースが設置されており、ダイカスト業界の多様性と卓越性が見取れる見本市となっています。



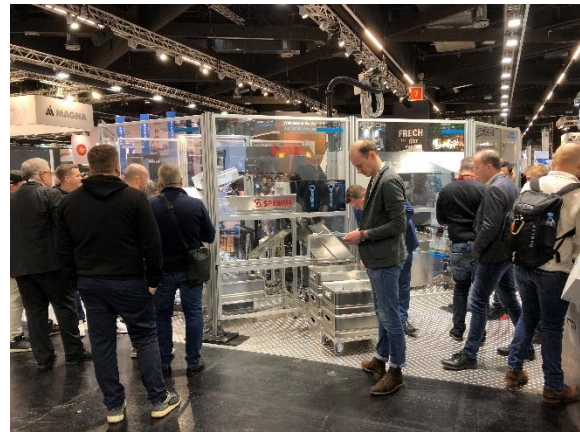
ホール9のイタリアブース



来場者で賑わう会場



中国出展者も数年ぶりに復活



栓抜き製造実演（お土産用として配布）

今回の EUROGUSS のテーマは、持続可能性。ドイツでは 2023 年 1 月 1 日にサプライチェーン法 (LkSG) が施行されたこともあり、ダイカスト業界は持続的な生産や運営に向けた対策（予防措置の確立、是正措置の実施、苦情処理手続きの確立他）に真摯に取り組んでいます。同法はドイツ内に本社や支店を置く従業員 1,000 人以上の企業に適用されますが、自社事業だけでなく、世界中のサプライヤーの違反に対しても必要な措置を講じなければなりません。このため、企業の代表と研究者たちが、会場で「鋳造業界の持続可能性 - Quo Vadis?」と題した議論を繰り広げました。エアランゲン・ニュルンベルク大学の マティアス・フィフカ (Matthias Fifka) 氏は、「サプライヤーの事業を危険にさらさないためにも、関係企業を含めたチームタスクとして取り組む必要がある。」と指摘していました。

また、EUROGUSS と並行して、ドイツダイカスト鋳物工場協会 (VDD) 及びドイツ鋳造産業連邦協会 (BDG) が主催する、第 23 回ダイカストデーが開催されました。会期 3 日間にわたり、CINN Ost において 26 のコンファレンスが開催されましたが、今回は、業界の主要トピックであるギガキャスティングに加え、デジタル化、軽量構造、持続可能性に焦点が当てられました。どのセミナーもほぼ満員と大盛況で、業界のこれらのテーマへの関心の高さがうかがえました。

EUROGUSS の特筆すべき点は、ダイカスト製品の紹介の場としてだけでなく、業界の要望を反映し、新技術の開発や紹介、若い人材の確保や育成に資する場として機能していることです。ヨーロッパダイカストコンペティションは、優れたアルミニウム、マグネシウム、亜鉛の鋳造部品を紹介するために 2022 年に導入されましたが、今回は下記企業が受賞の榮譽に輝きました。

受賞企業

- アルミニウム：BMW AG（ドイツ）
- 亜鉛：HDO Druckguss- und Oberflächentechnik GmbH（ドイツ）
- マグネシウム：TCG UNITECH GmbH（オーストリア）

さらに、優れた若い才能を表彰するために、2020 年に導入された EUROGUSS Talent Award が、今回も継続して開催されました。コンテストでは、ダイカスト業界及びそのバリューチェーンにおける変革や改善、または新たな応用に関する学士論文や修士論文の著者がプレゼンテーションを行い、各企業のトップクラスの審査員が審査を行いました。同コンテストは、研究成果の PR の場としてだけでなく、就職活動の一環としても活用されており、業界関係者からも大変評価されています。

主催者のニュルンベルク見本市は、今回の見本市の成功を次回に繋げるため、EUROGUSS 2026（2026 年 1 月 13 日～15 日）の開催に向けて既に始動し始めています。今回のパネルディスカッションのテーマでも取り上げられましたが、ドイツでは高いエネルギーコストや過剰な官僚主義、不確実な経済見通しなどのために、経営状況が厳しいと感じている中小企業が増えています。このため、ニュルンベルク見本市では、サプライヤー9,000 社を抱えるサプライヤー産業ワーキンググループ（ArGeZ）とともに、中小企業のサプライヤーの実情を把握し、次回の開催テーマの割り出しに役立てたいと考えています。

日本からの出展企業

出展者名：日軽エムシーアルミ株式会社（ホール 9-310）



出展者名：ブラザー工業株式会社（ホール 7-463）



出展者名：株式会社ダイナモ（ホール 7-163）



出展者名：株式会社キャストック（ホール 7A-511）



出展者名：リョービ株式会社（ホール 7A-421）

